

2012年4月26日

報道関係者各位

STARTS スターツ出版株式会社



「オトナ女子が本当に読みたい小説大賞 大賞作決定！  
大賞はマヒルさんの『ソース』  
7月25日全国書店にて発売予定！

スタート出版株式会社（東京都中央区京橋1-3-1、代表取締役社長：菊地修一）は主催するオトナ女子が本当に読みたい小説大賞の、読者投票、社内書籍編集部、および審査員による審査を行い、大賞1作品（賞金50万円）、優秀賞2作品（賞金各30万円）の入賞作品を決定しました。入賞作品は順次書籍化を予定しています。応募総数は672作品でした。

	著者名	作品名
大賞	マヒル	『ソース』
優秀賞	浅海ユウ	『Devil's Night』
優秀賞	いいよ	『乳房にメス』

※名前はいずれもペンネーム

## ■ オトナ女子が本当に読みたい小説大賞とは...

ここ数年、ネット上に自分の小説を公開される方が増えてきています。ネット小説は、多くの読者の目に触れることで“本当に読者が求めている”小説に人気が集まる点が大きな特徴だと言えます。

スタート出版はこれまで、主に中高生に向けてケータイ小説を出版してまいりましたが、小説サイト「Berry's Cafe」の開設をきっかけに、大人の女性に向けても、書籍の刊行をスタートさせました。

そこで、この「Berry's Cafe」に掲載される作品を対象とした、「オトナ女子が本当に読みたい小説大賞」を昨年10月より開催。672の応募作の中から、第一次選考は、読者の投票によって50作品が選出されました。

その後スタート出版書籍編集部審査会により2次審査が行われ、5作品が最終審査へと進み、作家・湊かなえさん、公募ガイド編集長・橋谷尚人さん、スタート出版第2書籍編集部編集長・吉満明子の3名により、白熱した審査の結果、上記の受賞作を決定いたしました。

- 主催:スタート出版株式会社
- 協力:株式会社公募ガイド社
- 審査員:  
湊かなえ(作家)  
橋谷尚人(公募ガイド編集長)  
吉満明子(スタート出版第2書籍編集部 編集長)

(敬称略)

# 大賞 『ソース』マヒル

## ■マヒル

妄想を趣味とし、ニコニコ動画にはまっている。現在は小説サイト「Berry's Cafe」で執筆活動中。

## ■作品紹介

毎日コンビニでソースを買う謎の美女の正体は...

宇野正直(まさなお)は今年の春から油絵科の美大生となり、大学から近いコンビニで半年程バイトしていた。そのコンビニでは毎日なぜかソースを買っていく美人な女性がいて、正直は恋心をもちながらひそかに彼女を「ソースさん」と呼んでいた。

ある日、正直はバイト帰りに男性にからまれる女性の悲鳴を耳にするが、その女性はソースさんだった。彼女を助けたことがきっかけで二人の関係は急展開、その後、淡い交際を経て幸せに暮らす二人だったが、正直が教授に将来を嘱望されて、有名な絵画コンテストに作品を応募するところから、ソースさんの過去の記憶、その出来事から派生するあるいまわしい治療、そしてその治療を施す医師の正体などが、彼女の狂気と共に次々と明かされ、なぜ彼女がソースを毎日買うのかが紐解かれていく。

## ■存在感のある、もっとも応援したくなる作品

### 審査員:湊かなえ氏評

「物語として一番まとまりがあると思いましたが、正直、ソースさん、ともに魅力を感じられませんでした。ソースを買う理由がもっと深い出来事に起因するものであれば、全体に厚みが出るのではないのでしょうか。正直にはもっと欠点が欲しいです。次場面への引きを意識した文章により、時制の乱れができていますので気をつけましょう」

### 審査員:公募ガイド 橋谷尚人編集長評

「全体に漂う雰囲気がよく、心地よく読み進めることが出来ました。雰囲気は狙って書けるものではないので、この作者の大きな魅力だと思います。ただし、欠点の多い作品であることも事実です。一人称の割に主人公のキャラが弱く、感情移入しにくい面もあります。キャラの描きこみがまだまだ足りません。もっとも応援したくなる作品という意味もこめて、1番に推しました」

### 審査員:スターツ出版 第2書籍編集部編集長 吉満明子評

「主人公が色を塗り重ねていくストーリーは映像が瞼の奥にちらつき、ラストを迎えた後に強烈な存在感がありました。キャラクターはそれぞれ描き分けられていましたが、欲を言えばソースさんの個性をもっと濃く打ち出すための演出があってもよかったと思います。まだまだ荒削りな印象なので、もう少し推敲を重ねてほしいです」



#### 【審査員】

左から

橋谷尚人(公募ガイド編集長)

湊かなえ(作家)

吉満明子(スターツ出版第2書籍編集部 編集長)

撮影協力:パークホテル東京

撮影:依田佳子

## 優秀賞 『Devil's Night』 浅海ユウ

### ■ 浅海ユウ

伊坂幸太郎好きで、現在は小説サイト「Berry's Cafe」で執筆活動中。スターツ出版より電子書籍『エクスタシー』で作家デビュー。

### ■ 作品紹介

廃墟で出会った美少年。彼はなぜ私を知っているのか...

幼い頃、美月は廃墟で謎の美少年・カイに出会った。彼は襲われそうになった美月を救うために2人の男を殺し、それ以来姿を消す。だが、後に彼女の心を残忍に引き裂き始め…。『あの頃みたいに、僕を愛して…』天使のような顔をした悪魔が語るのは全く心あたりのない記憶。そこに待ち受けていたのは、究極の罠だった…。

### ■ 母親の気持ち、女性性の描かれ方は見事

#### 審査員：湊かなえ氏評

「これを一番にして選考会に臨みました。過去のエピソードは30年前の少女マンガのようですが、わたしは嫌いではありません。子どもを誘拐された母親の気持ち、心臓移植を決断するシーンはとてもよく書けていると思います。子どもが一人ではなく二人の理由も秀逸です。現在パートだけでもよかったかもしれません」

#### 審査員：公募ガイド 橋谷尚人編集長評

「時間が大きく前後するので、なかなかストーリーに集中できませんでした。何度も読み返さないと分からなくなります。小説の中で時間を前後させるのは、非常に難しい手法。マンガや映像作品のようにはいきません。子供を守りたい思う気持ちや行動などはしっかりと書かれているので、女性の共感を得られやすい作品だとは思っています」

#### 審査員：スターツ出版 第2書籍編集部編集長 吉満明子評

「あらがうことのできない輪廻転生が恐怖と悲しみをつれてくるという設定が面白く、引き込まれる描写力も秀逸。ただ、あまりに哀しすぎるカイに個人的に魅力を感じられませんでした。とはいえ、何度も何度も出会ってしまうカイの存在感は、この話にかなり厚みを持たせていましたし、かつ『運命を受け入れる』女性性の描かれ方は見事だと思いました」

## 優秀賞 『乳房にメス』 いいよ

### ■いいよ

イラストも得意とし、現在は小説サイト「Berry's Cafe」で執筆活動中。スターツ出版より文庫『君が落とした青空』で作家デビューし、発売1ヶ月を待たずに重版するほどの人気作家。

### ■作品紹介

彼は私を愛してくれない人。それでも私が選んだ答えとは...

紗江子は翔と出会ったその日に身体の関係に。二人はそのうち同棲するものの、「紗江子が男ならよかった」「紗江子は男っぽいね」と事あるごとに口にする翔。ある日のデート中、紗江子はとある出来事から、翔が心では男性を愛しているのだと知る。それでも、紗江子は彼の傍にいたいことを選び、ある告白をすることに...

### ■結婚、仕事...女性の共感を呼べる作品

#### 審査員：湊かなえ氏評

「途中まで、これが一番かなと思いつつ読みました。親の小言、仕事の愚痴、結婚への思い、彼氏に対するいらだちなど、共感できる部分がたくさんありました。答えのない問いに対して、主人公には強く明確な答えを出してほしかった。確信犯として妊娠したのであれば、大賞に推していました。誤字・脱字に気をつけましょう」

#### 審査員：公募ガイド 橋谷尚人編集長評

「テーマを完全に消化しきれていない感じがします。作者本人が書きながら葛藤しているのが、そのまま作品に反映されているようです。描写はうまいと思いますが、間延びしすぎな部分も多い。もっとコンパクトにできるはず。心の葛藤だけでは、作品として仕上げるのはなかなか難しいと思います。事件やハプニングを起こして、どんどん話を転がしてほしかった」

#### 審査員：スターツ出版 第2書籍編集部編集長 吉満明子評

「距離を感じる二人の関係性は、異性愛者同士のカップルにもありうるような、そこはかたない焦燥感・物悲しさが漂っていて、十分共感できました。しかし、ラストは読者にとってもう少しわかりやすくしたほうがいいでしょう。テクニックこそ感じますが、胸を打つ描写力には及ばず。作品に存在感を与える思いやメッセージを、意識してみてください」

### 【この件の問い合わせ先】

スターツ出版株式会社  
広報担当：萩原 里(はぎわらさと)  
〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-1八重洲口大栄ビル7F  
TEL.03-6202-0392 FAX.03-6202-0400  
E-mail:contact@starts-pub.jp